令和７年度一般会計決算 歳入116億円・歳出111億円をチェック!

# 「人」が「町」が「未来」が輝くまちづくりは



予算編成時に町が掲げた「3つ」のまちづくり。議会は、各事業の費用対効果や継続性を審査し、予算が適正に使われたかをチェックしました。議会が寄せた「評価」と「期待」をピックアップします。

## 評価 移住者への補助金を創設

**移住支援金** 決算額 300万円

- 世帯で移住すると100万円
  （18歳未満の子どもがいると+30万円）
- 単身なら60万円
- 実績：３世帯６人が移住！



都内の移住イベントで小川町をアピール



Gikai's eye

**「移住」から「永住」へシフト**

移住実績を挙げたので評価は「◎」としたい。さらに目指すのは、地域への参画を促し、次世代を担う人材へつなげることだ。

## 評価 ママ！ひと休みしてください

**産後ケア事業** 決算額 169万8000円

産後の母子の心身のケアと育児支援

| | 実人員 | 訪問型 | 日帰り型 | 宿泊型 |
|---|---|---|---|---|
| 令和6年度 | 17人 | 3日 | 17日 | 31日 |
| 令和7年度 | 30人 | 1日 | 54日 | 29日 |

利用者の声
- 眠ることができ、育児に向き合うことができました。
- 授乳の悩みが相談でき利用してよかったです。





Gikai's eye

**子育て支援の充実へ**

令和7年度の出生数は63人、内30人の母子の利用があった。議会は、一人でも多くのママが安心して出産育児に臨めるよう、母子保健関係予算の獲得に努力する。



請求に対する迅速な支払いや収入漏れがないかなど毎日チェックし、間違いが起こらないよう二重、三重の確認体制で取り組んでいます。
今後も、迅速かつ正確な公金出納事務を心がけ、可能な限り経費削減に努めていきます。

久保会計管理者

次ページは「決算質疑」

## 期待 リニューアル初年度の道の駅

**指定管理者からの納付金** 決算額 400万円

- 売上額約８億円➡納付金400万円（指定管理者と協議中）
- 目標来場者数40万人➡実績66万人超（令和８年３月末時点）



Gikai's eye

**にぎわいに見合った納付額に**

リニューアル後、地元の農産物・酒・和紙製品などの販売は順調のようだ。一方で、伝統工芸施設の活用とPRには、さらなる工夫を求める。また、あくまでも暫定として示された納付金の在り方に不安が残る。決算審査を迎えるまで（出納整理期間内）に納付額が確定しなかったことは「課題」である。



にぎわう1周年記念・夜間営業

### 納付金の適正化等を要望

決算審査で明らかとなった暫定的な納付金について、町長へ要望書を提出。納付額を迅速かつ適正に確定することをはじめ、経営状況の透明性の確保や、施設ごとの収益に応じた納付金制度への見直しなどを求めました。

要望書の全文はコチラ

### 監査委員の意見（抜粋）《企業誘致 ・道の駅に期待》



議会選出監査委員 髙橋功人（たかはしいさお）

〈歳出〉
今後も歳出の増加が見込まれる。計画的・効果的な財政運営を進めるとともに、デジタル化による業務の高率化、健康増進による社会保障費の抑制等に取り組むことを求める。

〈歳入〉
税収の先行きは厳しい。国の財政措置を注視し、企業誘致など財源確保に取り組むとともに、道の駅の経済効果に期待する。



代表監査委員 福島崇晃（ふくしまたかあき）